



市長室だより

堀尾吉晴公

信長、秀吉、家康という3人の天下人に仕えた堀尾吉晴公の生涯をまとめようと、縁のある2市1町で「堀尾吉晴公共同研究会」を立ち上げました。吉晴公の生誕地である愛知県大口町、1600年に富田城へ入城し出雲・隠岐経営の初めの拠点となった安来市、松江城を築き城下町建設に取り組んだ松江市です。それぞれに残されている850点もの資料等を中心に、中世から近世への時代を渡世したその生涯や人物像を解明していきたいと考えています。

吉晴公は富田城で約10年間過ごしています。また、亡きがらは、遺言により富田城内の巖倉寺に埋葬されています。吉晴公の研究を進めることは、近世の富田城や城下町広瀬の歴史的な位置づけをさらに深めるものと考えています。富田城は、戦国時代の尼子氏のときに全盛を迎えますが、その後は吉川氏、堀尾氏が入城しています。この間、城郭も戦国の城から近世の姿に移行しています。専門家からは富田城の価値を「中世から近世城郭の双方が手つかずのまま残っている点」が評価されています。

私は経済人としての面でも吉晴公を評価しています。安来の地から、流通など経済性を重視し、より水利・水運のよい松江に城下町を建設しました。政治家として先見性のある人物であったに違いありません。吉晴公の功績をたどることで、私たちが取り組んでいる現在のまちづくりの参考にできることがあるでしょう。

市長短信



◀近藤市長と大口町の鈴木町長（左）。大口町の鈴木町長は製造業が集積するものづくりの盛んな町です。

どげなかね

2017 3 月号

も く じ

- 2 市長室だより
- 3 市政トピックス
- 4 特集：支え合う社会を目指して
障がいのある日常
- 8 特集：新しいまちを創る③
- 10 市民でつくる開館事業
- 12 囲碁棋聖戦
- 13 圏域市長会通信①
- 14 たうんとぴくす
- 16 食育レシピ、数字で見る安来
- 17 連載：健康の窓
- 18 連載：日本遺産、加納美術館
- 19 新着図書の紹介
- 20 「ジョーホーの森」各種お知らせ
- きらり光る☆地域（裏表紙）

別刷 市民カレンダー

3月の行事／日曜日・祝日診療など

今月の表紙

「銀世界に響く大歓声」

1月22日から降り積もった大雪は平野部でも約30cmの積雪になりました。市内では交通が乱れ、農業用ハウスなど建物にも大きな被害が発生しました。

一方、子どもたちは久々の大雪に大歓声。降雪の合間に、雪だるまづくりや雪合戦などを楽しみました。

撮影日／1月25日 場所／安来保育所（安来町）

